



よみきかせボランティアのための

おすすめえほん

47号
2024
冬

小学1・2年に
おすすめ

知識

『しろいかみのサーカス』

たにうちつねお//さく いちかわかつひろ//しゃしん
福音館書店(約2分)



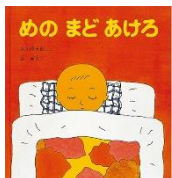
白い紙を、折って立たせたり、切り込みを入れて伸ばしたり、丸めて石を乗せたり、蛇腹に折って跳ねさせたり。その紙の様子がよくわかる写真とシンプルな文章で、紙のサーカスぶりを説明しています。読めばきっとやってみたくなる一冊です。



読み聞かせプログラムに取り入れたい 詩の本・うたの絵本

『めのまどあけろ』

谷川俊太郎//ぶん 長新太//え
福音館書店



朝起きてから夜寝るまでの子ども的一天を、見開き1編、全部で11編の詩で綴った絵本。リズムがよく、ぜひ声に出して読んであげたい。

『ウルスリのすず』

ゼリーナ・ヘンツ//文 アロイス・カリジェ//絵 大塚勇三//訳
岩波書店(約11分)

創作

小学3・4年に
おすすめ

山の男の子ウルスリは、春を呼ぶ鈴行列のお祭り、大きな鈴を持って、行列の先頭を歩きたいと思っていましたが、渡されたのは一番小さな鈴。がっかりしたウルスリは、夏の山小屋に大きな鈴があったことを思い出し、雪山をひとり山小屋に向かいます。スイスの画家カリジェが山の暮らしや自然を素朴に描いた絵本。



小学5・6年に
おすすめ

昔話

『かちかちやま』

おざわとしお//再話 赤羽末吉//画 福音館書店(約7分)



山で捕まえたタヌキに、ばあさまを殺されてしまったじいさまのもとに、ウサギがやってきて、敵をとってやると約束します。勇敢で賢いウサギは、タヌキを次々とこらしめ、とうとう敵討ちを果たします。日本で広く知られた昔話を、昔話研究の第一人者が再話を担当した絵本。どこか軽やかでユーモラスな絵がストーリーの雰囲気を伝えています。

県立図書館では、学校などでの読み聞かせの方法について、「よみきかせ相談会」を実施しています。

「子ども室」カウンターでも、質問などを
お伺いしています。



[発行]
福井県立図書館子ども読書推進室
(2024.1 発行)

〒918-8113 福井市下馬町51-11
TEL. 0776-33-8860